

『救急車の適正利用について』

* 本当に必要ですか？救急車？？



芦品消防署 警防第2係
蓮下 哲寛

一目統計

項目	内容	数
救急出動	救急出動回数 救急搬送人数 救急搬送回数	518,768 210,000 1,000,000
救急車	救急車台数 救急車乗員数 救急車乗客数	5,177 254,000 1,000,000

福山消防管内



救急業務とは (法2条)

- 1 災害により起きた事故
- 2 屋外、公衆の出入りする場所で起きた事故
- 3 屋内において起きた事故
- 4 生命に危険を及ぼすような症状
- 5 著しく悪化するおそれがある

これらの傷病者を病院等へ搬送するため、
適当な手段が無い場合

全国の救急出場件数(平成21年中)

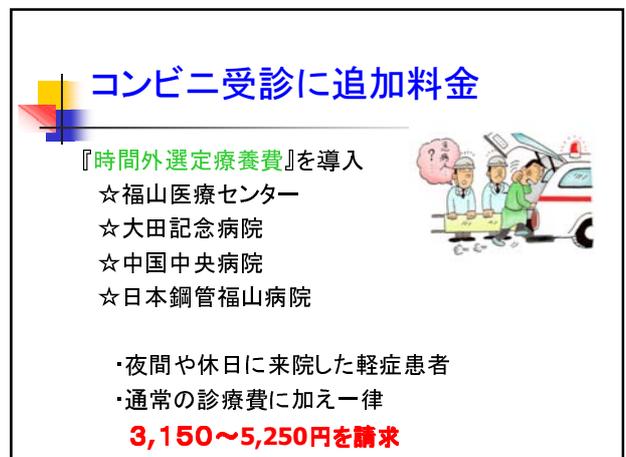
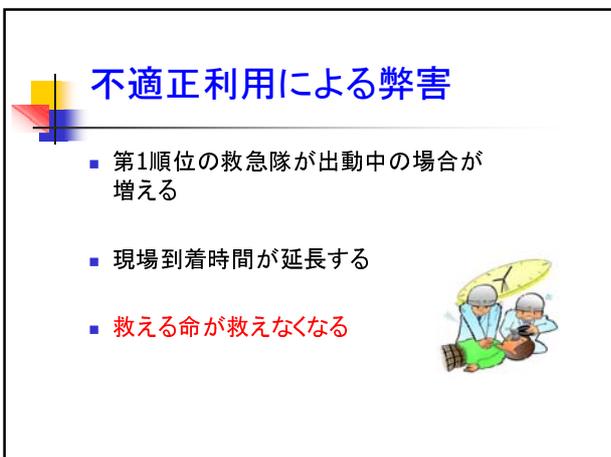
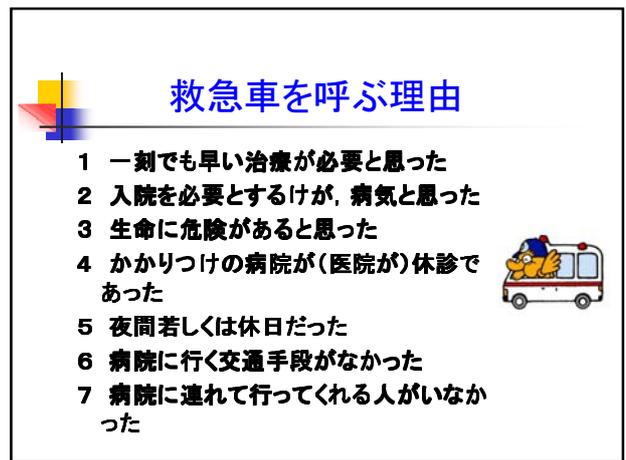
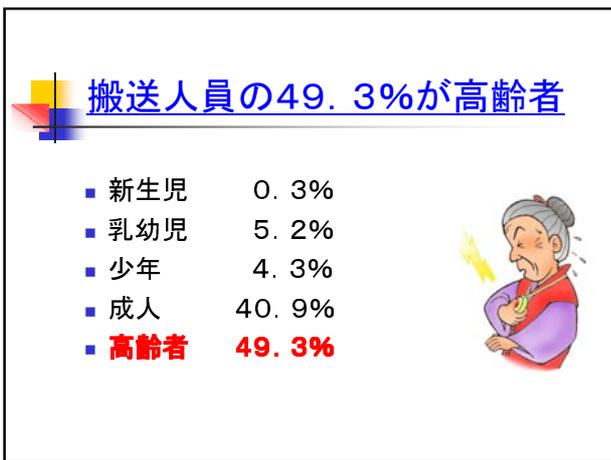
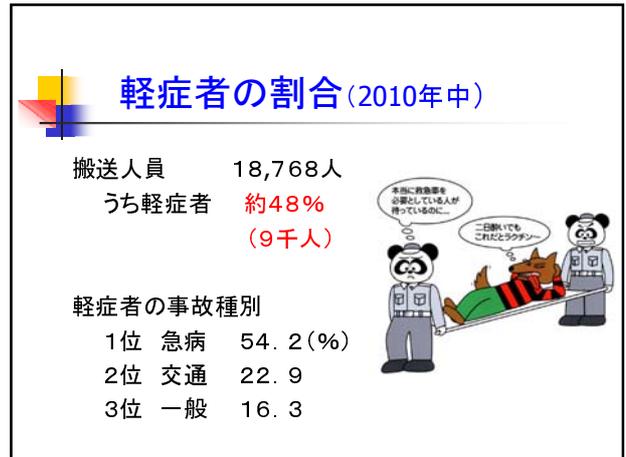
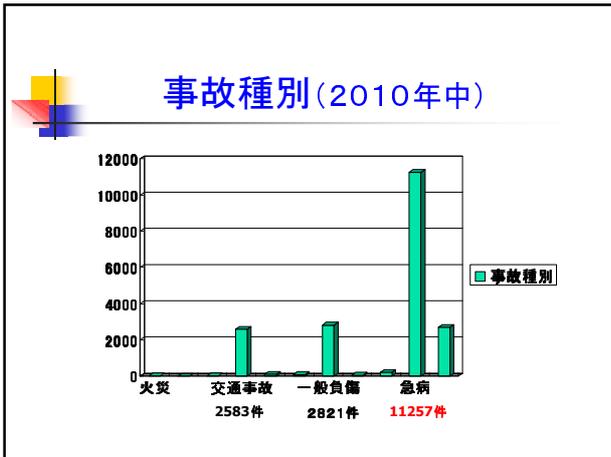
★ **5,125,936件** — 前年と比較して+25,566件

★ 一日平均で14,033件 **6.2秒**に一回
国民**27人**に一人が救急搬送されている

★ 事故種別は、**急病** 3,141,882件(61.3%)
一般負傷 703,205件(13.7%)
交通事故 546,937件(10.1%)

福山消防の救急出場件数





現在の救急医療体制

☆症状の重さによって病院が役割分担☆

- ・一次 — 軽い風邪など軽症患者に対応
- ・二次 — 入院や手術が必要な重症患者を診る
- ・三次 — 心肺停止など容体の重い患者を診る

福山・府中地域救急支援診療所

- 福山市三吉町(市医師会館敷地内)
- 成人の1次救急患者を夜間受入れる
- 午後7時から午後11時まで
- 2次救急病院にまわる軽症患者の半減を目指す



出場1件当りの費用

☆1年間の人件費と諸費用の和
÷ 救急車出場件数

≒ **44,000円**



救急車の有料化

無料であることが不適正利用を促している

↓

「有料になれば利用しない」と言う人が**10.5%**

↓

不適正利用の一部を防止



今後、どのような負担が良いか？

- 利用者が一部負担すべき **63.2%**
- 今までどおり税金で全て **31.0%**
- 利用者が全て負担 **2.6%**



利用料金はどれくらい？

- 5,000円 **27.7%**
- 3,000円 **25.6%**

☆過半数が**3,000円～5,000円**である



有料化の懸念

- 『お金を払うのだから。』と気兼ねが無くなり、かえって利用が増加するおそれがある。



現時点では困難であるとする



トリアージ(重症度による選別)

- 119番受信時(指令課員)
- 救急現場 (救急隊員)



東京消防庁・横浜市消防局で試行



ほぼ実用化の水準に達する



不適正利用防止の取り組み

広報活動



- ポスターの掲示
- チラシ、ガイドブックの配付
- ラジオでの放送
- 医療機関の案内(消防署)
- 講習会等で、適正利用のお願い

